



インドネシアのバリから4名の特定技能実習生が仲間入り
「ガンバリマス！ヨロシクお願いします!!」

それいゆ 広報

Vol.137

医療法人 同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院 TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ TEL0577-34-5026
- Dr.Orishige ビオメゾン TEL0577-37-0800
- りあん・ど・それいゆ TEL0577-32-8166



**介護老人保健施設それいゆ
における取り組み**

介護老人保健施設それいゆ
相談室長 中屋寿香子

山々を見上げると、濃淡の緑の色紙を貼り合わせたかのような姿が映り、花々も黄、白、ピンク、紫色、と色の変化が目を楽しませてくれます。飛騨の冬は長く、春の訪れがとても待ち遠しいです。

毎年変わらず自然が巡り、私達の生活に恩恵をもたらしてくれる事に、感謝しかありません。

しかし、温暖化のせいか、近年の積雪量の減少や雪解け後の植物の芽吹き、開花時期が早くなってきているように思います。

また少子高齢化、人口減少、高齢者の一人世帯の増加の時代に入り、あらゆる業種で人手不足が生じています。身近なものは、バス路線の廃止、宅配便の要日数の増加等があり、我々の生活への影響も避けられなくなってきました。

福祉社会でも同じ現象が起きており、それを補う手段として、介護ロボットやIT技術の導入があります。医療の世界では、既に手術ロボットや生成AIによる画像診断や、動物病院でも診断にチャットGPTを導入されているところもあります。公共路線や道路でも、無人の自動運転が導入されている地域もあります。NHKの朝のニュース解説でも、AIによる自動音声が行われていますが、やはり人の声と比較する

と、硬い印象があります。

どんなに革新的で画期的な技術が進んでも、人の生活には、人の手が必要です。

私達の施設でも、定期的に職員間にご利用者の言葉・行動、ご家族様、今までの生活様式等、色々な情報を皆で共有し、確認しながら、日々の取り組みについて話し合いを行っています。多職種間で話し合う事で、角度を変えた見方や考え方を知ることができ、書面や電子版で残す事で更に次の課題に向き合う事ができるよう、取り組んでおります。新型コロナウイルスも五類扱いとなりましたが、当施設では引き続き感染対策を行っています。お互いの様子からわからない中、少しでもご利用者様の様子をお伝えできるよう、努力しております。

今年度、介護報酬の定期的な見直しがあるため、ご利用者様やご家族様には、ご負担をおかけ致しております。職員も自分達の生活を見直し大切にすることで、より質の良い介護が提供できるよう、日々努力をしていきたいと思っております。

今年度もご理解とご協力を賜り、皆様と共に良い評価をいただける施設を創り上げていくことができるよう、ご協力の程、よろしくお願い致します。

各委員会の目標

■リスクマネジメント委員会

【事故対策・感染対策・拘束廃止・虐待防止・褥瘡予防】
 『直面する課題、想定される課題の分析・評価・対策・実行を周知し遂行する』

- 各部門関連性がありあらゆる側面から一元的に評価対応等統括管理する。
- 部門毎に指針の策定並びに見直しを行い周知徹底する。

■事故防止委員会

『ヒヤリハット・事故報告書を間違い無く、誰がみても分かりやすく作成できる』

事故報告書を正確に作成できるという事は、しっかりとした報道相ができ、PDCAサイクルが行え、分析をしつかり行う事で次の事故防止に繋がる。

- マニュアルに沿ったルール作り
- KYTの継続
- 代表事例の精査、話し合い

■食事委員会

『ご利用者の目線に立ち、適切な食事介助・見守りや声かけを行うことができる』

『ご利用者の食嗜好を献立に反映させることで喫食率増加に繋げる』

■入浴・環境・排泄委員会

『入浴』『利用者様の安心・安全を考慮した入浴介助』

- イベント風呂を企画

五月菖蒲湯 六月ヨモギ湯 九月or十月林檎湯
 十二月ミカン湯 二月ヒノキ湯

- 一般浴の残留塩素濃度検査の確認・湯温の確認

■環境

『清潔で安全な環境が提供できるように、個々に意識する』

- 施設内点検 年に二回の強化月間（六月、十二月）

■排泄

『個々に合ったパットを選び、適切な使用でコスト削減を図る』

- パット・オムツ類の変更に伴い使用方法について動画確認することにも、使用感を報告する。
- 無駄使いしない様、スタッフが各々意識する。
- 陰洗の一日一回以上施行継続。

■レクリエーション委員会

『普段レクリエーションに参加しない方々に対しても、何かしらの形で参加して頂けるような環境を作っていく』

- 年間行事計画

四月お花見 六月運動会 七月七夕飾り
 八月プチ夏祭り（各フロア） 九月敬老会
 十一月文化祭（家族観覧）
 十二月クリスマス会、餅つき、花餅作り

- 職員教育チエックシートやBCP関連を考慮しつつ、マニュアルを改定し、レクリエーションのフロア毎の中止基準、縮小基準を詳細に決めていく（感染、災害時で分けて考える等）。

■防災委員会

『実用的・実践的なマニュアル作成に向けて取り組み』

昨今の自然災害が多発している中、当施設の対応を見直し実際に被災した時に困らないよう詳細まで考えたマニュアル作成を目指していく。施設としての対応に不明な部分があった場合に随時委員会話し合いマニュアルに反映させていく。

例）災害時のトイレの使用方法、避難誘導時に屋外に誘導した利用者をどうするのか、風呂から避難させる場合合生命の優先はあるがプライバシーへの配慮はどうするのかなど。

■教育委員会

『システムのバージョンアップと見直し』

（職員教育の仕組みを見直し、更なる効率化と定着を図る）
 補足目標：単位履修率7割以上の定着を図る。

■認知症専門部会

『認知症の理解を深め、利用者のペースに合わせた支援を行う』

■衛生委員会

『無災害運動の継続（目標二五〇〇八〇時間）』

①安全衛生計画に基づき全員参加の安全活動に取り組む。
 ②従業員の心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活、活気のある職場のために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活性化など心の健康づくりに取り組む。

通所リハビリテーション

主任 白川 浩代

いつもそれいゆ通所リハビリをご利用いただき、ありがとうございます。

早くも夏の日があるかと思いきや、ぐっと冷え込む日もあり体調を崩しやすい日が続いております。そんな中でもお元気に通ってきてくださるご利用者様を見て職員も元気をいただいております。

さて、今年度は三年に一度の介護報酬改定の年となっております。改定内容の一つに『リハビリテーションと口腔管理と栄養管理を一体的に推進する』という項目があります。今まで口腔管理は「口腔機能向上加算」をご希望された方のみ行っていましたが、この六月からは全てのご利用者様の口腔管理を行うこととなりました。看護師が中心となり、義歯の有無の確認や舌の状態確認などを順次行っております。また、管理栄養士による食事の摂取量や嗜好の聞き取りなどを行っております。食べるといことは生きていく上で必須です。出来る限り長い間、美味しく食べることができるよう支援させていただきたいと思っております。

また、入院後の利用時など医療機関との情報連携を促進する観点から、退院時の会議に可能な範囲ではありますが、リハビリスタッフも参加させていただくこととなりました。入院時の情報を直接聞き取りができますので、在宅に戻ってからの生活に対し、より密にリハビリが行えると思っております。

これからも安心して、また楽しく通っていただける通所リハビリを目指して、様々な業種が一丸となって取り組んでいきたいと思っております。



新事業

老健それいゆ
訪問リハビリテーション

この度、六月より介護老人保健施設それいゆにおいて、訪問リハビリテーションサービスの提供を開始いたしました。当施設をご利用の皆様にはお馴染みの理学療法士と作業療法士が担当させていただきます。

老健退所後、在宅での生活の自立を目的としたリハビリを継続していただく事が可能な体制となっております。ご利用希望の方は、是非担当スタッフまでご相談頂きますようお願い致します。



面会制限緩和のお知らせ

新型コロナウイルス感染症並びにインフルエンザの感染状況が落ち着き、感染症に対する認識や普段からの感染対策も定着して参りました。このような現状から当施設では、六月十七日より面会制限を緩和する事となりました。長期間にわたりご不便をおかけし、またご理解とご協力頂きました事に感謝申し上げます。面会を希望されます方は、事前予約の上、諸条件をクリアして頂く必要があります事をご承知お下さいます。

- 面会人数 各入所者様、週一回二名まで（十二歳以上）
- 面会日時 月～金曜日、一四：三〇から又は一五：三〇から、十五分間程度
- 問診受付 発熱、咳、咽頭痛等諸症状の無い方、罹患後十日以上経過している事、十日以内に同居家族に感染者・濃厚接触者がいない事
- 面会場所 受付後エレベーターで入所フロアへ移動、エレベーターホールで面会
- 禁止事項 面会中の飲食、食べ物や金銭の持込
- 予約者 主介護者様による予約申込
- 予約受付 電話〇五七七・三五・三〇三〇
月～金曜日 九：〇〇～一七：〇〇

※感染状況等により変更することがあります。

保ふく室開所のお知らせ

保育士 向平 知子

今年の四月から久しぶりに保ふく室を開所するにあたり、保育士として働かせて頂いております。保ふく室は職員の〇歳児から二歳児までのお子さんをお預かりする、定員五名の少人数保育です。子ども達一人ひとりにじっくり向き合い手厚く保育を受けられること、保育者と子どもの距離が近いことから家庭的な雰囲気の中で過ごせることが少人数保育のメリットだと思います。

子どもたちを保育するうえで、「人と人とのつながり」を大切にし、オープンな保ふく室を目指しています。私たち保育者だけではなく、皆さんと一緒に子どもたちの成長を見守り見届けていけることが理想です。

子ども達が入室している時はオープンの看板を掲げているのでぜひ一度保ふく室を覗いてみて下さい。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



- 営業日・営業時間 月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）、八：三〇～一七：三〇
- 実施区域 旧高山市内（区域外応相談）
- スタッフ体制 理学療法士五名、作業療法士二名
- 利用料金 基本サービス費＋各種加算Ⅱ一回当たり約六〇〇円（負担割合一割の場合）

それいゆ訪問看護ステーション

副主任 田中夏澄

それいゆ訪問看護ステーションをご利用いただき有難うございます。今年は三年ごとに実施される、報酬改定が行われます。訪問看護では、医療・介護ニーズや在宅での看取りへの対応と共に、安定した二十四時間の緊急時訪問体制の構築・強化、退院後早期や医療ニーズの高い方の居宅での療養支援と入院前後の医療機関との連携体制の強化、情報共有にも力を入れています。

ように、「入院したけど退院したら住み慣れた家で生活したい。だけど状態が落ちているし、病状も心配だから不安。」という場合や、「家で介護をしているけど体調面や急な体調の変化が心配。薬の管理ができない。リハビリをして運動能力を維持したい。」など、看護師による病状観察や緊急時の対応、理学療法士によるリハビリを行いながら、在宅での療養生活を安心して安全に送ることができるよう支援させて頂きます。

高山市の人口総数は減少傾向で、二〇四〇年までに六十五歳以上の人口が占める割合が四〇・三%となります。また、医療資源の少ない地域として、高山市があがっています。



ご利用者様の家族の一員
まるちゃんとはなちゃん

新緑の美しい季節となり、初夏の風が心地よく感じられるようになりました。
ご利用者様、ご家族様には、日頃からヘルパーステーションそれいゆをご利用いただき、また運営に関しましてもご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。梅雨入り前の変わりやすいこの時期、くれぐれも体調にお気をつけてお過ごしください。
今年度は三年ごとの介護報酬改定の年でした。改定に伴いお忙しいなか、同意書等の手続きをしていただきありがとうございます。

訪問介護は介護報酬単価が前年度より減額されました。お安くなった分、より多くの利用者様にご利用していただければと思っております。お知り合い、ご近所様でヘルパーが必要だと思われる方がみえましたら、お気軽にご相談ください。ご自宅での生活を長く
続けていただくためのお手伝いができると思います。
介護職員につきましては、賃金アップがなされました。より一層の励みとして、利用者様一人一人のニーズに合わせた支援ができるように日々検討を行い、丁寧な仕事を行う事を心がけます。
今後ともヘルパーステーションそれいゆを、よろしくお願いいたします。

ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 野島尚子





りあん・ど・それいゆ

管理者 阿礼 由美香

介護報酬改定で、ご利用者並びにご家族、関係者の皆様にはご理解とご協力頂きまして誠にありがとうございます。りあんのある中山町は、春には沢山の花が咲きます。鳥のさえずりや、登下校の児童・生徒の元気な声も聞こえてくる最高の場所です。先日、富士神社の例祭には、祭行列近くで見ることができ、獅子も来ていただきました。地域の方々に見守られ、ありがたいなと感じております。

小規模多機能型居宅介護は一つの事業所で「通い」「訪問」「宿泊」の三つのサービスが受けられます。そのため一回の契約で多数のサービスが受けられるのが特徴です。一つにまとめられるのでご家族の負担を減らせますし、ご利用者にとっても環境の変化が少なくてすむのが特徴です。こじんまりとした一軒家で、ご利用者と職員が大家族のような関係性で毎日を過ごしています。そのため細かい部分まで知ることができ、必要に応じて、必要な分の手助けを、最適なタイミングで提供できることが強みです。ご利用者様の变化にいち早く気づき、住み慣れた地域（自宅）で、一日でも長くお過ごしできるよう支援して参ります。



今年、日常生活は新型コロナウイルスの感染症の不安を持ちながらも、通常の生活に戻っています。この三年間、停滞していた人と人との交流を取り戻すため、地域のみなさまに『介護で困ったら、シャロンへ相談に行こう』と想っていたただけるように、地域との交流を大切に、情報発信につとめてまいりたいと思っております。広報『シャロン便り』を定期的に発行し、内容も介護でお困りの方へのメッセージとして見ていただけるよう、またホットオレンジカフェへ参加していただけるように広報に努めています。地域に開かれた小規模多機能型居宅介護を目指して、更なる一年にしていきたいです。



シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功

シャロン・ド・それいゆの理念『笑顔の為に』を掲げて、利用者様の毎日の生活が変わりなく過ごせ、楽しみが持てるように努めています。

①定期的に行事を予定。春には桜餅を作り、桜の下でお茶を飲みました。五月にはおやつを持ってポッポ公園まで散歩。今後、夏のお茶会、秋の収穫祭、クリスマス会など：計画して実施していきます。

②多様性の多い利用者様、一人一人に合ったサービスの提供、利用者様の生活歴や人格を大切に、適切なサービスを提供できるように個別に検討会を実施。期限を持った目標を立てて介護にあたれるよう、職員一同みんなで努力しています。お気づきの点やご希望等がありましたら、いつでもご連絡下さい。

※シャロン・ド・それいゆでは、見学・相談を随時受け付けております。お気軽にお電話下さい。
連絡先：〇五七七・三四・五〇二六
シャロン・ド・それいゆ 管理者 牧田まで



Dr. Oishi Biozon

介護長 澤 浦 恒 子

肌を感じるそよ風も心地よい新緑の候を迎えました。新型コロナウイルスの影響で自粛を余儀なくされた生活からも開放され、晴天の中、今年の高山祭りは以前の賑わいを取り戻しました。施設内ではまだまだ制限はありますが、利用者様が安心して日々の生活を送ることができる様、スタッフ一同努力してまいります。

バイオゾンでは介護記録ソフトを導入し一年が経とうとしています。当初は手戻りも多く見られましたが、今では利用者様の日中・夜間の様子、注意すべき情報、スタッフへの申し送り、など多数のカルテの確認や記述に追われることなく一つのタブレットに集約し、時間を短縮することにより、業務効率化を実現できました。次の段階としてバイオゾンで、取り組んでいる事は、利用者様の見守り体制をいかに強化していくかです。これまでの利用者様の記録データを活用し、危険に対する職員の意識、利用者様の夜間の行動、排泄の回数、不安症状の出現時の対応、お一人お一人の記録を統計で把握し、見守り体制の強化に役立tingことを試みています。

また記録を統計と共に見返すことで利用者様に必要なケアは何か、又利用者様がどのような時にどのような行動をとられるか、予測し対策を立てて事故予防に繋げること、根拠のあるケアを実践し、介護の質の向上と利用者様の安心安全な生活を維持することができるよう努めてまいります。

記録に追われてしまう時間が削減され、利用者様としっかり向き合い、見守り、気持ちに寄り添うことができるバイオゾンを目指します。



レザミひだ 春の防災訓練

管理者 折 茂 いづみ

令和六年四月二十五日(休)レザミひだメデイケアガーデン全体の防災訓練を実施しました。

今回の火元想定は、南棟四階ショートステイそれいゆで、中間階出火の場合の避難順序に従って、最初は四階、次に出火階の直上階、最後に出火階の直下階の順で避難を行った後、非常防災設備の操作方法を確認しました。また、避難訓練終了後は、正面玄関前で職員による消



火器・消火栓の取り扱い説明と模擬消火訓練を実施しました。訓練にご協力いただいた丸新消防の方より、火元の確認後の行動は初期消火と同時に情報の伝達を行うことよとの講評をいただきました。

各事業所・各職員がそれぞれの役割分担を理解し行動できるよう、年二回の訓練時だけでなく、常日頃からの想定訓練と行動訓練が大切です。バイオゾンでは月一回のフロア会議の前に、職員が順番に誤報時の非常設備の復旧訓練を二人一組で行い、初回に習った職員が次の月に別の職員へ教えるようローテーションを決めています。

いざという時に慌てることなく、ご利用者様に安心していただけるように、これからも努力していきたいと思っております。



ショートステイそれいゆ

生活相談員 中島 奈々

日頃より、ショートステイそれいゆをご利用いただいているご利用者様、ご家族様、並びに当事業所にかかわる皆様、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご利用者様が不安なく笑顔でスタッフと会話を楽しんでいただけたら、自宅にいるときのように居心地よく過ごしていただける生活の場として必要なのは、まずはご家族様、ケアマネジャーからの丁寧な聞き取りによるその方の性格、嗜好、既往歴、身体能力などの情報収集です。その後アセスメントし、その方にあった介護を最小限のお手伝いで、ご本人の出来ることを維持できるようにフロアのスタッフへ伝え、安全安楽に過ごしていただけることを目指しています。

ご自宅からご利用される方、施設を退所されご利用される方、それぞれ背景は違っても、同じ空間で同じ時間を過ごすうえで、ご本人がまた来たくなるような、そしてご家族様が安心して依頼していただけるような施設でありたいと考えます。

その為にも研修、カンファレンスを重ねて、スタッフ一同精進してまいりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。



ケアプランセンターそれいゆ

介護支援専門員 井口 亜未

新緑の候、日頃はケアプランセンターそれいゆの活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年には三年に一度の介護保険制度改正の年を迎えています。その改正の中で感染症や災害への対応力向上という項目があります。今回はこれについて今取り組んでいることをお伝えします。

今年には元日の能登半島地震に始まり、各地で比較的大規模な地震が続いています。高山市は地震の少ない地域と言われていますが、大原断層があり、いつ地震が起きてもおかしくない状況です。そんな状況の中、今回の制度改正で自然災害や感染症発生時における業務継続計画(BCP)の作成義務化が明記されました。

これは急な災害や感染症が発生した際にもすぐに業務が復旧できるように、予め職員の参集要件や優先順位の取り決め等、事前に計画を立てる内容となっています。

当事業所でもこのBCP作成の中で優先順位の取り決めや、事業所全体の利用者様の情報を取りまとめ、災害時でもすぐに利用者様の住所や連絡先・身体状況・薬の内容が分かるようファイル作成を行っています。

おかげさまで近年高山市は大きな災害には見舞われていませんが、もしもの時に備え各ご家庭でも地震や水害が起きた場合の避難先の確認や、備蓄品の確保など平常時から取り組んで頂くことで、発災時でも混乱することなくスムーズな動きがでるのではないかと思います。

在宅を訪問するケアマネとして、今後も自然災害や感染症発生時の啓発活動を行いながら、書面だけでなく具体的な動きができるようなBCPが作成できるように努めていきたいと思っております。

病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷 美穂

日頃は病児保育室の運営にご理解とご協力いただきありがとうございます。ありがとうございます。

昨今、少子高齢化や人口減少など国としての課題は多々ありますが、高山市においても同様に、二十代の県外への転出が特に多く、地域を支える現役世代は大幅に減少し、女性人口の減少、未婚率の増加、それに伴い子どもがいる世帯も大幅に減少しています。高山市の出生数も十年前は年間一、一〇〇人前後でしたが、令和に入ってから五〇〇人台となっています。また高山市は共働きの世帯が多いことも特徴です。あらゆるところで人手不足の中、子育て中の現役世代のご家族の負担もますます大きくなっています。



プティそれいゆでも、スタッフの減少などで十分にお預かり出来ないこともあり、利用者様にはご迷惑をおかけしますが、お子さんが健やかに過ごし成長されるよう、スタッフ一同、精一杯対応してまいりますので、今後とも病児保育室プティそれいゆをよろしくおねがいいたします。



同仁会の元気な仲間 大募集！

- 資格 / 18歳以上
(介護職は資格取得見込も可)
- 時間 / シフト制(応相談)
- 給与 / 当法人の規定による
- 休日 / 1ヵ月単位の変形労働時間制 年間休日105日
- 社会保険完備、各種手当有り、福利厚生有り
 - 託児所あり(3歳未満)
 - 子育て中でも職場のスタッフがフォローしますので仕事しやすい環境です
 - 産休・育休等、安心の福利厚生
 - 医師が24時間対応だから夜勤も安心です
 - パート希望の方はご相談下さい
 - 20~70才代まで幅広い年代が在職し家族のような雰囲気です



- ①看護師・准看護師(老健施設・デイケア・訪問看護)
- ②介護職(老健施設・小規模・訪問介護)
- ③言語聴覚士・理学療法士・作業療法士(老健施設)
- ④ケアマネ(ケアプランセンター・小規模多機能)
- ⑤介護助手(無資格パート)
- ⑥保育士(託児所・病児保育室)

慰問ライブ のんたのかかし様



飛騨総社例祭 5月4・5日



歳時記

桜花見



消防署へ 社会見学～



皆様は、この数年、あらゆる業種で人手不足が生じ、地方では特にその傾向が常態化しています。医療・介護サービスにおいては十年以上前から慢性的になつていきます。この仕事は、人々の日常生活を維持するためにはとても重要な位置付けにあります。当法人では昨年から順次特定技能実習生を採用、力を発揮してもらっています。

皆様の安心と安全な暮らしの維持に貢献し、若い世代にとっても子育てや生活が充実して働ける魅力的な職場となるよう、取り組んでいきます。

ご意見やお話があればお気軽にお声がけ下さい。よろしくお願いたします。(カ)

編集 後記

飛騨では六月が節句です。街中で泳ぐ鯉のぼりを見かけました。子どもの健康やかな成長を願う伝統行事ですが、久しぶりにお目見えした感じが、お祝いもようやく出来る世相になつてきたのでしょうか。

とは、この数年、あらゆる業種で人手不足が生じ、地方では特にその傾向が常態化しています。医療・介護サービスにおいては十年以上前から慢性的になつていきます。この仕事は、人々の日常生活を維持するためにはとても重要な位置付けにあります。当法人では昨年から順次特定技能実習生を採用、力を発揮してもらっています。